【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-3739(P2009-3739A)
【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)
【年通号数】公開・登録公報2009-001
【出願番号】特願2007-164774(P2007-164774)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ　25/00　　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　25/12　　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　17/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ　25/00　　５１０Ｃ
Ｇ０８Ｂ　25/12
Ｇ０８Ｂ　17/12　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年6月11日(2010.6.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
親機３は、図３に示すように、システム１を構成する子機２Ａ～２Ｄ，・・・の個別識別情報からの通報（個別識別情報を含む）を、アンテナ３１Ｂから無線受信部３１Ｃを通じて受信するデータ受信手段３１Ａａと、録音メモリ（図示せず）を有しこの録音メモリに子機２Ａ～２Ｄ，・・・毎の音声メッセージを記憶する記憶手段３１Ａｂとを有する制御手段３１Ａ（ＣＰＵ）を備える。そして、親機３は、子機２Ａ～２Ｄ，・・・からの通報を受けると、各子機２Ａ～２Ｄ，・・・に対応して、記憶手段３１Ａｂの録音メモリに予め録音された音声メッセージでもって、通報があった旨を音声再生部３１Ｄを通じて報知するようになっている。また、各子機２Ａ～２Ｄからの通報を受信可能な状態となる動作モードと、子機２Ａ～２Ｄ，・・・の数に基づき記憶手段３１Ａｂの録音メモリを、子機２Ａ～２Ｄの数に対応する記憶領域に分割する子機登録モードとを切り替えるモード切替スイッチ３１Ｅを備え、子機登録モードに切り替えた状態で、記憶手段３１Ａｂの録音メモリに、各子機２Ａ～２Ｄ，・・・毎に、前記各子機２Ａ～２Ｄ，・・・から通報があった場合に音声再生部３１Ｄより出力される音声メッセージを音声入力部３１Ｆを通じて録音できるようになっている。また、子機２Ａ～２Ｄ，・・・からの通報があった場合には、音声メッセージの出力のほか、子機２Ａ～２Ｄ，・・・の個別識別情報とともに設置場所が、受信表示部３１Ｇにおいて、視覚的に表示できるようになっている。周波数設定装置３１Ｈは、子機２Ａ～２Ｄ，・・・との通信に用いられる信号の周波数を設定するものである。